

さきがけ

題字 理事長 川上和哉

発行 一般社団法人加茂青年会議所

新潟県加茂市幸町2-2-4加茂市産業センター2階

TEL 0256-53-3241 FAX 0256-53-3231

2018年度
基本理念

知行合一 青年よ大志を抱け

青年会議所とは明るい豊かな社会の実現を理想とし、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、より良い社会づくりをめざし、まちづくりや青少年育成などの社会的課題に積極的に取り組んでいる 20 歳から 40 歳までの青年による全国的な組織です。



地域の皆様へ
2018年度理事長
川上和哉

日頃より我々の運動に際しまして、深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。明るい豊かな地域社会の実現を目指す我々は、2018年度基本理念「知行合一 青年よ大志を抱け」のもと、メンバー一人ひとりが地域の未来を見

据え、理想を実現させるために、青年らしく高い志を掲げ挑戦することや知識と行為を一体にすることで、社会に貢献するという気概で行動して参りました。多くの地域の皆様方からお力添えをいただき、様々な事業を展開させていただきました。

した。地域の皆様におかれましては、これまで以上のご理解とご厚情を賜りますことを心よりお願い申し上げます。年度を終えてのご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。



2018年度の主な活動

4月	▶ 講演会「人材の可能性を広げるコーチ型マネジメント」 桜井 一紀 氏【㈱コーチ・エィ取締役専務執行役員】 ▶ 第52回 雪椿まつり 「トレジャーハンティング in 加茂山」 主管 ▶ 加茂山清掃
5月	▶ 田上町の未来を考えるパネルディスカッション ▶ 青海神社春季例大祭 神輿担ぎ
6月	▶ 講演会「そうだったのか家庭教育」 石川 志郎 氏【(公財)新潟教育会新潟研究所】 ▶ 加茂川一斉清掃 長瀬神社春季大祭 神輿担ぎ
7月	▶ 西日本豪雨水害支援に伴う街頭募金活動実施
8月	▶ 越後加茂川夏祭りおよび加茂川清掃
9月	▶ AKARIBA2018 開催
10月	▶ 加茂市五番町商店街ごっこ祭り 和装でおもてなし提案「Show 京都スタイル発表会」 ならびに体験ワークショップ
11月	▶ 子どもの豊かな心とたくましく生きる力を育む事業

小京都スタイル

地域の若者が考える和装のおもてなし



つくる真の小京都委員会
委員長 川崎大一郎

この地域には、春から秋にかけて開催されるお祭りも、落ち着いた街並みも残っており、変わらない良さがありますが、人数が減り少し寂しくなったお祭りや商店街の店が少なくなったことなどに目を向けると、まじの変化に対して何かできないかと考えます。

今年度は、そうした想いを持つ地域の若者とともにまちの未来を考えるべく、Show京都会議という会議体を設け、共にどうしたらこのまちはより良くなるだろうと考え、活動して参りました。

会議では、地域の魅力とは何か、その魅力の活かし方や実現に向けてのアイデアを出し合いました。まず、この地域は古くから京都と縁があることなどから京都と呼ばれる、和を基調とする景色や文化などは近隣にはない魅力であると我々は考えました。



感できると考え、地域に和装を定着させる目標を立てました。

しかし、いきなり和装が定着するとは考えられず、まずは我々自身が着たいと思える和装を考え、その恰好をShow京都スタイルと名付け、地域のお祭りで着ていただく提案をすることが決まりました。食に特化した行事を開催している五番町商店街様から提案にご賛同いただき、10月13日に開催された五番町ごつつお祭りではスタッフの方々に我々の考えた前掛けを付けてお客様をおもてなしいたできました。我々もShow京都



スタイルに身を包み、Show京都スタイルをご説明する発表会ならびに簡単に和装を体験できるワークショップを同会場にて行いました。

地域の若者とともにまちの未来を考え活動できたことは、将来のこのまちの財産になると当委員会では考えております。

改めまして、各種アンケート調査にご協力いただきました皆様、我々の考えにご賛同いただきました五番町商店街振興組合の皆様、そして悩みながらも活動と共にしてくれた仲間とも言えるコミュニケーションメンバーの皆様、本当にありがとうございました。



Show京都会議は、加茂市田上町で暮らす地域の働く若者たちです。普段はそれぞれの仕事を営んでおりますが、この度「自分たちの力でこの地域の良さを引き出せたら」と集まり、加茂青年会議所とともにまちづくり運動を行って参りました。今後は今年考案した小京都スタイルを広げる他、より自分たちの専門領域を活かしたまちづくり活動を行っていったらと考えております。

協力団体紹介

Show京都会議

人財の可能性を拓ける

コーチ型マネジメント講演会

つくる未来のLOMプロジェクト

委員長 森 友和

つくる未来のLOMプロジェクトは、加茂青年会議所の会員一人一人が地域で活躍できる人材になるために、4月12日にNPO法人日本コーチ協会より桜井一紀氏を講師として招き、講演会を開催しました。コーチングはビジネスの現場やスポーツのトレーニング、そして教育現場で活用される技術です。

講演会では「人財の可能性を拓けるコーチ型マ



ネジメント」と題し、従業員や同僚等の他者の成長を促し、人財の可能性を拓けるためにどのようなコミュニケーションが必要なのかについて学びました。講演内容は、コーチングについての概論か

ら傾聴の方法や質問の投げ掛け方などの実践的な方法に及びました。

講師からは、『若い皆さんが積極的に人の成長について考えることは素晴らしい。実践経験や学んだ知識を活かし、これからも活躍されることを期待します』との言葉をいただきました。

また、当委員会では、会員家族を交えてバーベキュー大会を行いました。

家族同士の交流の場、会員が家族を招いて日ごろの労をねぎらう感謝の場、そして子どもたちが存分に楽しめる場として皆で楽しみました。



第52回 雪椿まつり「トレジャーハンティングin加茂山」



2018年4月8日(日)、第52回雪椿まつりトレジャーハンティングin加茂山を開催いたしました。当日は、4月の上旬であるにも関わらず雪がちらつくあいにくの天気となりましたが、会場となった加茂市民体育館には、加茂市内外から大勢の子どもたちがあつちとなりました。恒例となっているカモレンジャーショーや協力団体様によるアトラクションブース、飲食ブースが展開され終日大



盛況のうちに幕を閉じました。屋内の開催でしたが各アトラクションに頑張る子どもたちの姿が天に届いたのか、天候もみるみるうちに良くなり、例年の春の陽気を見せる場面もありました。ご来場頂いた皆様、なにご協力いただきました関係諸団体の皆さまに改めまして感謝申し上げますとともに、青少年育成によって、明るい豊かな社会の実現を目指して邁進する我々加茂青年会議所に、これからも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

小京都を楽しむ会 AKARIBA 2018

このまちの未来とAKARIBAの未来



姫だるまあかり

私たちはAKARIBAをより発展させるための新たな試みの一つとして、

私たちはAKARIBAをより発展させるための新たな試みの一つとして、

委員長 山田 宗

つくる未来のAKARIBAプロジェクト

私たちはAKARIBAをより発展させるための新たな試みの一つとして、

私たちはAKARIBAをより発展させるための新たな試みの一つとして、



青海神社空間演出



和傘のあかり

私たちはAKARIBAをより発展させるための新たな試みの一つとして、

私たちはAKARIBAをより発展させるための新たな試みの一つとして、

私たちはAKARIBAをより発展させるための新たな試みの一つとして、

私たちはAKARIBAをより発展させるための新たな試みの一つとして、

協力団体紹介

AKARIBAばんげ市
(ハンドメイドコミュニティ)講師紹介
公益財団法人新潟教育会
新潟教育研究所アドバイザー
石川 志郎氏

平成10年新潟県五泉市立五泉中学校の校長を務められ、平成14年には新潟大学教育学部にて非常勤講師として指導。また新潟市教育委員SSTチーフアドバイザーを務め、平成22年聖籠町教育委員会の公益財団法人新潟教育研究所教育アドバイザーに就任されました。この度加茂青年会議所の事業に対し「子どもは地域の宝である。今後も子どもたちの未来の為に活動を続けて行ってほしい」とお言葉を頂きました。

石川志郎先生は元教員という立場から多くの子どもや家庭をご覧になってきた。その経験のなかから様々な事例をお話いただき、我々親世代が育った環境と現代の子どもたちの環境の違い、また親としてどのように



千代田ベーカーリー様にて行いました。親子でのパン作りという共同作業のなかで、親から子どもへの声掛けから子どもたちの自己肯定感を高めることを目標とし、全長2メートル40センチのパンの家を親子で作っていただきました。参加したご家族からは「来年も行って欲しい」など大変にご好評をいただきました。

改めまして、ご公演いただきました石川志郎先生、ならびに講演会、事業にご参加いただきました皆様、ありがとうございました。我々は、これからも様々なテーマのなかから地域の宝である子どもたちの健やかな成長のために青少年育成事業を行っていきたいと思います。

たくましい子どもに育てるためには
そうだったのか家庭教育 講演会未来へつなぐ委員会
委員長 佐藤 晃一

現代の子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。どのような時代でも子どもたちにはたくましく育ち、今後の人生の困難にも負けない思いやりを持った人に成長して欲しいと願うばかりです。

私たちはふれ合いをとおして成長していきます。しかし親として一生懸命子どもと向き合っているのにも関わらず、子どもたちに関わる事件が後をたちません。当委員会の調査の結果、多くの家庭では子どもを教育していきなかなで不安を抱えていることがわかりました。我々はそうした不安を解消する場が必要と考え、公益財団法人新潟教育会新潟教育研究所アドバイザー石川志郎先生よりご協力いただき、6月に加茂市、田上町の小中学生の保護者を対象とした講演会を開催しました。

子どもたちと向き合えば良いかをお教えいただきました。

具体的には、子どもの価値観のなかで自己を肯定する力、すなわち自己肯定感を持つことが重要であることを学びました。講演会の参加者からは「参考になった」「学んだ教育法を実践してみたい」とのお声をいただきました。また加茂市の教育関係者の方からも「加茂市の青少年教育の背中を押して頂ける事業を行っている」とのご感想もいただきました。

親子で作る
パンの家づくり

現役メンバーメッセージ

西村 太佑



私は今年度「あかりの結婚式」を担当いたしました。約半年間、いかに新郎新婦お二人が結婚式を楽しむことが出来るか考えてまいりました。地域の皆様から頂いた祝福の声、多くの皆様からご協力賜りました企画・演出によって、思い

出に残る結婚式に導くことができました。私自身もお二人の思い出に携われたことを誇りに思い、このような機会をいただけたことに感謝しております。結びに、お二人を祝福して下さいました地域の皆様、そして一生の思い出となる瞬間にあかりの結婚式を選んで下さった新郎新婦のお二人へ心より御礼申し上げます。

卒業メンバーメッセージ

牛腸 一丈



私は2006年に入会し、2018年の卒業に至るまで理事長を含む会の様々な役職を経験させていただきました。入会以前は、これから会社を引っ張っていく立場として私自身未熟であつたと自覚しておりましたが、入会以降、先輩諸

氏や地域の皆様、また加茂以外の方々とも出会うことができ、事業を通じて経験を積むことで、青年経済人として見識を広めることができました。今後は、企業活動を通じて地域に貢献していくことで、ご恩に報いていきたいと考えております。卒業に際しまして、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

次年度理事長

ご挨拶

2019年度加茂青年会議所

理事長予定者

小日向正弥



日頃より一般社団法人加茂青年会議所の運動に際しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度2019年度加茂青年会議所の第55代理事を拝命することになりました小日向正弥と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

加茂青年会議所は20歳から40歳までの会員で構成し、加茂市田上町の明るい未来のために、まちづくり・ひとづくり・青少年育成など

の事業を行っている青年団体です。2019年度は加茂青年会議所が誕生して5年目を迎えます。次年度も引き続き、青年らしく情熱を持って行動してまいりますので、今後とも我々加茂青年会議所に対して一層のご理解とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



一般社団法人
加茂青年会議所

会員募集中

私たちがくらす加茂・田上地域がより明るく豊かな社会になるために私たちと一緒にまちづくり運動をしてみませんか。「人は人によって磨かれる」といいます。年齢も職業も異なるメンバーの集まりですので、普段の生活では味わえない経験を積むことができます。皆様のご入会を心からお待ちしております。

●正会員資格：加茂・田上にお住いの、またはお勤めの20歳以上40歳未満の男女

●お問い合わせ 新潟県加茂市幸町2-2-4 TEL 0256-53-3241 FAX 0256-53-3231

HP：http://www.ginzado.ne.jp/~kamojc E-mail：kamojc@ginzado.ne.jp